

キュウリ産地からの提案書

海も、山も、川もすぐ近く。
自然がいっぱいの高知県土佐市で
農業（施設キュウリ）をしませんか！



胡瓜部会の仲間たち



土佐市宇佐から眺めた太平洋



お問合せ

JAとさし営農指導課
土佐市蓮池1008-1
TEL(088)850-2584
土佐市農林業振興課
土佐市高岡町甲2017-1
TEL(088)852-7656
中央西農業振興センター
土佐市高岡町乙3229
TEL(088)852-1281

J Aとさし胡瓜部会の農業研修制度

〔募集要項〕

1 目的

新規就農希望者に対する就農前から営農開始初期段階に至るまでの実践研修を促進することにより、新規就農者の確保及び育成・自立を促す。

2 募集要項

1 研修条件	農業に対する強い意志と意欲がある農業後継者や就農希望者で、研修終了後も引き続き高知県土佐市に定住、就農する意思のある者。研修中の居住地が確保され、研修場所（1年目：四万十町等、2年目：土佐市）まで通うことが可能であること。研修期間中は、他に就業しないこと。地域の住民や地域活動に協調的な者。また、農業を開始していないこと。
2 年齢	原則、就農時に年齢が40歳未満の者
3 研修期間	原則として2年間の研修です。ただし、希望者には、研修終了後、1年間のJ A実践ハウスでの就農コースがあります。(予定H28.8月～)
4 研修科目	J Aとさし、主要品目のひとつ、促成栽培によるキュウリ
5 募集人員	1組
6 募集期間	平成28年10月～平成28年12月
7 その他	・心身ともに健康であるもの。 ・研修修了後の農業経営に必要な設備投資、運転資金として自己資金は概ね500万円以上必要。 ・研修生募集時、1年目、2年目の研修開始時・研修中に（場合により、J A実践ハウスでの就農コース開始時に）、面談及び評価表にて、採用、研修等継続を決定します。 ・研修中に研修手当を受けていた方で、事業要件に合わなくなった場合、原則、研修手当の返還をしていただきます。

3 研修生の決定

本研修を希望される方は、事前に高知県土佐市にて「おためし短期農業体験」等を受けられることをお勧めします。面談、審査会にて、研修が決まった方を受入します。

研修にあたって

- ・「植物・動物・自然が好きなので農業を始めたい。」「時間に、会社に縛られたくないので農業をしたい。」農業を志す想いはひとそれぞれです。

農業は単に栽培するだけでなく、経営戦略や知識と能力が必要になります。自分ひとりで農業をしているのではなく、関係者との組織活動（生産組織や部会での活動、生産技術の向上、販売流通の動向把握等）も求められます。

時間を考えてみても、栽培管理に応じた適期の作業等、生活時間が拘束されてしまうこともあるのです。それを怠ると、収入が得られないような取り返しのつかない事態を招くこともあります。

- ・「貯蓄」、「家族の同意」はありますか？

農業を始める場合、ある一定の経験が技術習得のためにも不可欠です。その期間の生活費が必要ですし、就農にあたっては設備投資が必要です。また、就農後も技術に応じた収入の差などが生じますので、できるだけの貯蓄が必要です。

そんな時に、一番の支えは家族や親戚（独身の場合は、親や兄弟）であり、精神的、資金的に援助を受けたり、必要な保証人になってもらうことも考えられます。

- ・農業研修は、作物を管理しながらの研修であるため、土日、研修時間外であつてもハウスの管理や必要に応じて研修を行うことをご了承ください。

- ・研修期間中は、（特に、農家研修においては）研修生自らが積極的な受講態度で臨んでください。

現在の農業情勢に対応するため、専業農家でも農業で生計を立てるために大変な努力をしています。何より、就農した後は、自分で栽培計画、段取り等を考えなくてははいけないのです。

そして、不幸にして栽培に失敗した場合、その責任はすべて自己に起因するからです。言い訳はできません。

- ・本制度は研修終了後、就農を保証するものではありません。

就農について、関係機関で支援しますが、研修生自らも就農活動（農地、家屋等情報収集）を行い、最終的には自己責任のもと判断してください。

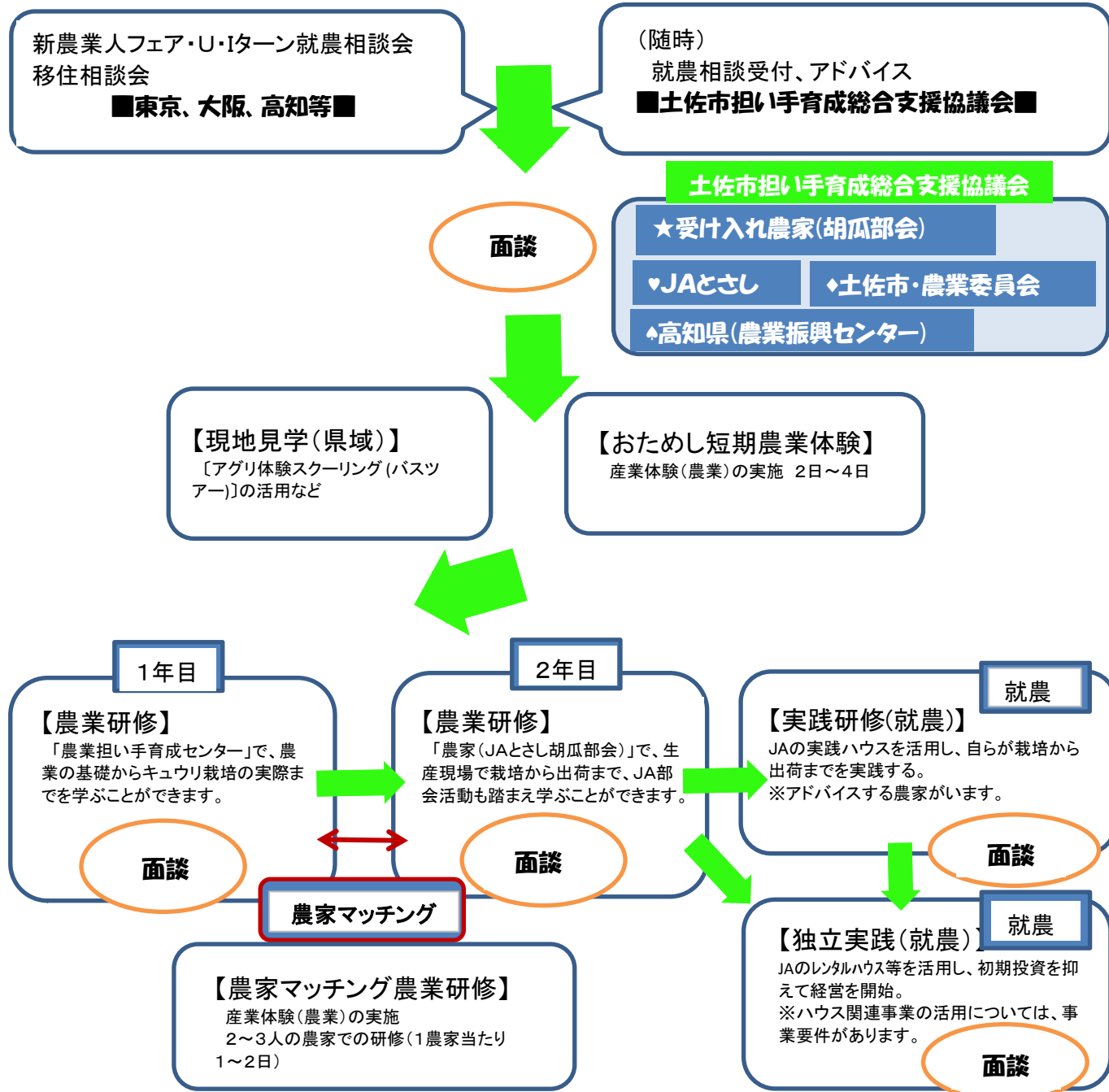
- ・就農後も就農地、また、居住地のある集落においては、地域活動にできるだけ参加して、地域に溶け込むように心がけてください。

JAとさし胡瓜部会農業研修の流れ



就農希望者のみなさん

「©新需要開拓マーケティング協議会・やなせたかし」



農業研修時の国、県等の取り組み支援(抜粋)

- ・農業研修に専念する就農希望者を支援。(青年就農給付金:準備型、県新規就農研修支援事業)
研修手当:月額15万円以内。
*年齢等事業要件があります。

その他

- ・各面談結果によっては、研修等ご希望に添えない場合があります。

平成28年度

農業担い手育成センターでの農業研修

参考

就農希望者長期研修

1 年目

座学

就農準備、農作業安全、土壌肥料、農薬、病虫害、野菜栽培の基礎、農業経営等13項目のカリキュラムを設定しています。(講義名一部抜粋)

就農の心構え	農業機械の安全対策	農薬の安全使用	野菜の生育と品質
肥料の種類・施肥設計	病虫害防除 雑草の管理	農業簿記の基礎	就農までの道筋と支援制度

実習

県内主要品目を中心に栽培(施設・露地)

(一部抜粋)

促成栽培(ナス)	夏秋栽培(甘長トウモロコシ)
促成栽培(ピーマン)	夏秋栽培(カラーピーマン)
促成栽培(キュウリ)	夏秋栽培(米ナス)
促成栽培(シシトウ)	露地栽培(ブロッコリー、タマネギ)
夏秋栽培(シシトウ)	露地栽培(オクラ、シシトウ、甘長トウモロコシ)

時期により、研修生が班に分かれ各作物をローテーションしながら栽培実習を行います。就農品目が決まれば実習する品目を固定する場合があります。

(研修する品目や実習方法は、変更になる場合があります。)

その他

- ・研修費用：1日510円
- ・宿泊について：原則として、長期研修は泊まり込み(寮)で受けて頂いておりますが、ご家庭の都合等で通いながら研修を受けることも可能です。
- ・宿泊料等：光熱費(エアコン電気代)、寝具(枕、シーツ、毛布に係る経費)
- ・食費：(食堂利用の場合、平日のみ)朝食200円、昼食400円、夕食400円。

JAとさし胡瓜部会 年間スケジュール
促成キュウリ

参考
2年目

月	内容
6月	誘引・摘葉作業 関係機関等巡回指導
7月	ハウス内設備片付け ハウス内蒸込・残渣処理 還元処理か還元太陽熱処理 土作り・土壌消毒 部会反省会 品種説明会 土壌勉強会
8月	被覆資材撤去 ハウス設備修繕
9月	ハウス被覆作業 基肥施用 畦立て・灌水設備準備 就農計画作成支援
10月	定植作業(上旬～中旬) 誘引・摘葉・摘芯作業 現地検討会
11月	側枝摘芯・誘引作業 マルチ設置(中旬～) 加温機準備、ダクト設備 現地検討会
12月	サイド内張二重被覆作業(上旬) 外サイド周り固定作業(中旬) 誘引・摘葉作業 現地検討会 年末講習会
1月	誘引・摘葉作業 現地検討会
2月	
3月	誘引・摘葉作業 サイド周り固定解除・換気作業(上旬以降) 現地検討会
4月	誘引・摘葉作業 サイド二重撤去 現地検討会
5月	誘引・摘葉作業

(参考) 促成栽培(キュウリ)の経営収支について(就農1年目)

- 1 経営概要
- ・施設キュウリ20aを栽培
 - ・家族労働力2名 総労働時間 4,267時間
 - ・借入金なし

2 売上、経費等

売上高(20a)	36,000kg(18,000kg/10a)	7,880,000	①	秀品率
規格内訳	生産量(kg)	単価(円)	割合	
A品	22,000	250	61%	
その他	14,000	170	39%	

生産経費	原材料費	3,877,000	②
	施設機械費	2,080,000	③
	(うち減価償却費)	1,950,000	④
	雇用労賃	99,000	⑤
	その他	176,000	⑥

<各費用補足>

- ・生産経費(土作り～種まき～植え付け～管理～収穫～出荷までにかかる経費)
- ・設備機械費(農機具や修繕費、機械装置の減価償却費)
- ・施設機械費は所有する機械、仕様によっても異なる。本例における機械・装置と用途については下表参照。

名称	用途
軽四トラック	運搬や出荷
乗用トラクター	耕耘
管理機	畦立て
動力噴霧器	農薬の散布等
加温機	ハウス内の加温
灌水ポンプ	栽培中の灌水作業
APハウス	栽培

- ・雇用労賃(ハウスの被覆資材の張替作業、植え付け作業)

3 農業所得

売上高-生産経費	①-((②+③)+⑤+⑥)	1,648,000	⑦
農家手取り	⑦+④	3,598,000	⑧

- ・農家手取り 売上高-生産経費+減価償却費
- ・農家手取りから、家計費、租税公課(税金)など、次年度の運転資金等を捻出する

(参考) 促成栽培(キュウリ)の経営収支について(就農3年～)

- 1 経営概要
- ・施設キュウリ20aを栽培
 - ・家族労働力2名 総労働時間 4,270時間
 - ・借入金なし
 - ・環境制御機器導入

2 売上、経費等

売上高(20a)	48,000kg(24,000kg/10a)	10,880,000	①	秀品率
規格内訳	生産量(kg)	単価(円)	割合	
A品	34,000	250	71%	
その他	14,000	170	29%	

生産経費	原材料費	3,900,000	②
	施設機械費	2,500,000	③
	(うち減価償却費)	2,300,000	④
	雇用労賃	99,000	⑤
	その他	176,000	⑥

<各費用補足>

- ・生産経費(土作り～種まき～植え付け～管理～収穫～出荷までにかかる経費)
- ・設備機械費(農機具や修繕費、機械装置の減価償却費)
- ・施設機械費は所有する機械、仕様によっても異なる。本例における機械・装置と用途については下表参照。

名称	用途
軽四トラック	運搬や出荷
乗用トラクター	耕耘
管理機	畦立て
動力噴霧器	農薬の散布等
加温機	ハウス内の加温
灌水ポンプ	栽培中の灌水作業
APハウス	栽培

- ・雇用労賃(ハウスの被覆資材の張替作業、植え付け作業)

3 農業所得

売上高-生産経費	①-(②+③+⑤+⑥)	4,205,000	⑦
農家手取り	⑦+④	6,505,000	⑧

- ・農家手取り 売上高-生産経費+減価償却費
- ・農家手取りから、家計費、租税公課(税金)など、次年度の運転資金等を捻出する

一緒にやろうよ
ワン！



土佐市 アクセスマップ

Tosa city access map



ホエールウォッチング



パラグライダー

土佐市へのアクセス

高知龍馬空港から	- 車で約60分 - 空港連絡バスで高知駅まで約35分 ※高知駅からのアクセス方法は下記をごらんください。
高知駅から	- JRで伊野駅まで約20分 →伊野駅からドラゴンバスで約15分
車で	高知自動車道土佐ICから約5分

まちの生活環境

教育環境	・保育園、幼稚園 ・小学校 ・中学校 ・高等学校	12 10 3 2
医療機関	診療所 病院 小児科 歯科 眼科	14 3 1 10 1
量販店	スーパーマーケット等	16